

2040年の「働く」を考えるプロジェクト

第二回ワークショップ 議事要旨

○実施日：2024年5月12日(日) 10:00~13:00

○場所：zoom

○参加者(敬称略)：

- ・ワークショップファシリテーター 大学院大学至善館副学長 吉川克彦
- ・ワークショップメンバー18名
- ・発起人 キャリアカウンセリング協会 理事長 藤田真也
- ・研究会委員、事務局

○内容

- (1) イントロダクション、進め方の説明
- (2) 各グループの進捗共有、シャッフルグループでのフィードバック
- (3) グループ毎のディスカッション
- (4) 次回に向けて

○議事要旨

(1) イントロダクション、進め方の説明

(吉川ファシリテーターより)

- ・本日のテーマは「現状を掘り下げる」。
- ・我々が認知している現状や、統計等に表れた問題が維持されてしまっている理由、その根底に何があるのかを捉える。
- ・本日は各グループが進捗共有をし、その後、各グループ1名ずつから成るシャッフルグループにおいてフィードバックをもらうという流れを繰り返す。最後に、各グループでフィードバックを持ち寄り、ディスカッションを行う。

(2) 各グループの進捗共有、シャッフルグループでのフィードバック

【ルーツ×タペストリー グループ】

- ・障害者や外国人など、「マイノリティの雇用」をテーマとした。
- ・人はみな色々なルーツがある。それを尊重し、共生できる社会を考えたい。
- ・マイノリティとされている方々は、社会の仕組み上、排除されている。そのなかで、まずは障害者に着目し、その仕組み・構造を理解し、他のマイノリティについても考察したい。
- ・がんサバイバーの方にもインタビューした。勤務先が公的機関のため、制度上は困っていることはないが、それを活用しうるかどうかは個人の状況や情報源によるものだと理解した。

・ 今後は厚労省の方や、企業において弱者と置かれている方々の雇用に携わっている方にインタビューしたいと考えている。

【F not yet グループ】

・ 未来のことは分からない、という意味でこの当グループ名とした。「2040年の人間らしさ、その支援」をテーマとする。2040年、キャリアコンは必要になるのか？ということを考えていきたい。

・ PEST フレームワークにおいて、政治 (Politics)、経済 (Economy)、社会 (Society) の3つに対して、技術 (Technology)が影響していると考えた。AI やロボットの進化など。

・ そこで、ムーンショット目標*に着目した。さまざまな職業 (EAP 業界、製薬、葬儀、製造など) について、Society 5.0 とムーンショットが実現された世界では、どのような変化があるか、そして、その変化は何を意味するか、そこにキャリア支援の概念は残るか、残るとしたらどのような支援になるか、ということを考えていきたい。

* 参照 <https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/target.html>

【サワーポテト グループ】

・ チームメンバーの名前の頭文字から当グループ名とした。このチームでは「Minority から Majority へ ~2040年の「誰もが活躍できる社会」を目指し、働き方とその環境を模索する~」をテーマとする。

・ 様々な制度が整ってきて働き方の選択肢も増えたが、子育て、介護、治療といった苦しさを抱えながら働いている人は多い。また、高齢者のようにそもそも仕事が見つけれない人もいる。

・ 要因として、働き方の基準が「フルタイム正社員」となっており、価値観が多様化していないからだ考える。

・ 人口が減る中で、ゴールの選択肢を増やしたい。「選択」や「つなぎ」ができる働き方を提言していきたい。

【SISTERS グループ】

・ チームメンバーの名前やメンバー全員が女性であることから当グループ名とした。このチームでは「キャリア教育のありかたの再定義」をしていきたい。

・ 働くということにポジティブなイメージがない若者が多い。安定と刹那の二極化が起きているのではないかと。また、早期離職や退職代行の利用なども問題となっている。

・ 要因として「やりたいこと探し」中心のキャリア教育がよくないのでは？と考えた。

・ 就社しないといけないという前提、親の意向に引きずられる、手っ取り早い正解を求める、などの点を課題と捉えている。

・ キャリア教育=やりたいこと探しではなく、キャリア発達を促す教育と考える。

・ 今後は高校生へのアンケートや、教育に携わる方へのインタビューを予定している。

【I'm OK! グループ】

- ・当チームでは「個人と組織が対等な関係で『働き方』が自由に選択できる 2040 年」というテーマを考えていきたい。
- ・現状を掘り下げるために、組織側、個人側双方に実態を尋ねるインタビューを行った。
- ・「日本的経営・日本型雇用の崩壊」という共通理解の中で、個人も組織も過渡期にあるのではないかと。多くの企業が人手不足を実感しており、人手不足倒産も過去最大規模で起きている。今後、更に労働人口が減少するが、変化に前向きでない組織が多い。
- ・個人は、雇用形態による区別や副業・兼業の不自由さ、介護との両立などが課題になっている。
- ・組織と個人が互いに will をもって自由に働ける社会を考えていきたい。

(3) グループ毎のディスカッション

シャッフルグループにおけるフィードバックを持ち寄り、ディスカッションを行った。

(4) 次回に向けて

(吉川ファシリテーターより)

- ・次回は、自分たちのテーマに関連する環境変化をふまえ、「現状の延長線上の未来」と「自分たちが実現したい姿」の2つを発表していただく。発表に対するフィードバックは吉川ファシリテーターなどが行う。
- ・人間の本质とはなんなのか？ 人にとって「働く」とはどのような意味があるのか？ 良い人生とはどのようなものなのか？ 人間とその社会にはどのような可能性があるかと考えるのか？ きれいごとだけでなく、人間の欲や弱さも踏まえて考える。自身の「心の声」に耳を傾けて考えていただきたい。

以上